

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

（千円）

政策名		安心できるIT社会の実現				
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い	相当程度進展あり	番号	⑦
		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度概算要求額
予算 の 状 況	当初予算	185,282	178,798	933,492	575,930	1,255,528
		<125,096,438>	<119,706,518>	<112,965,414>	<136,792,574>	<159,995,981>
	補正予算	0	0	0		
		<18,872,041>	<40,403,411>	<59,550,617>		
	繰越し等	0	0	0		
		<8,080,084>	<18,154,694>	<51,342,121>		
	計	185,282	178,798	933,492		
		<152,048,563>	<178,264,623>	<223,858,152>		
	執行額	168,647	166,274	680,381		
		<124,164,629>	<117,470,023>	<155,579,460>		

政策評価調書（個別票2）

政策名	安心できるIT社会の実現					番号	⑦	(千円)	
	予 算 科 目					予 算 額			
	整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	元年度 当初予算額	2年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	●	1	一般	警察庁	情報技術犯罪対策費	情報技術犯罪対策に必要な経費	575,930	1,255,528	
	●	2	一般	警察庁	科学警察研究所	研究・鑑定等に必要な経費	< 831,220 >	< 831,016 >	
	●	3	一般	警察庁	警察活動基盤整備費	警察活動基盤の整備に必要な経費	< 135,832,005 >	< 158,531,475 >	
	●	4	東日本大震災復興特別	警察庁	治安復興事業費	警察活動基盤の整備に必要な経費	< 12,128 >	< 61,013 >	
	●	5	東日本大震災復興特別	警察庁	治安復興政策費	警察活動基盤の整備に必要な経費	< 117,221 >	< 572,477 >	
	小計						575,930	1,255,528	
						<136,792,574> の内数	<159,995,981> の内数		
対応表において◆となっているもの									
	小計						<> の内数	<> の内数	
対応表において○となっているもの						<	>	<	
						<	>	<	
						<	>	<	
						<	>	<	
	小計						<> の内数	<> の内数	
対応表において◇となっているもの						<	>	<	
						<	>	<	
						<	>	<	
						<	>	<	
	小計						<> の内数	<> の内数	
合計						575,930	1,255,528		
						<136,792,574> の内数	<159,995,981> の内数		

政策評価調書（個別票3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名			安心できるIT社会の実現				番号	⑦	(千円)
事務事業名	概要	整理番号	予算額			政策評価結果の反映による見直し額(削減額)	達成しようとする目標及び実績		
			元年度当初予算額	2年度概算要求額	増△減額		政策評価結果のポイント		
							概算要求への反映状況		
サイバー空間における脅威への対処に係る人材育成	警察大学校等において、人材育成基盤装置をはじめとする教養資機材を活用し、実践的演習を含む様々な各種教養等を実施するとともに、民間の知見を活用した委託教養を行うもの。	● 3	421,375	1,353,006	931,631	△ 691,702	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> サイバー犯罪の積極的かつ的確な検挙、各種被害防止対策の実施等により、サイバー犯罪対策を推進する。 関係機関との連携、共同対処訓練等を通じたサイバー攻撃の標的となるおそれのある国内の事業者等のセキュリティレベルの向上の促進等により、サイバー攻撃対策を推進する。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度中、サイバー関連事業者等との連携を強化し、情報提供や注意喚起、被害防止対策等を積極的に推進した。 平成30年度中、サイバー攻撃の標的となるおそれのある国内の事業者等との連携を強化した。 <p>今後も、安心できるIT社会の実現を目指すため、サイバーセキュリティの確保とサイバー犯罪・サイバー攻撃の抑止が必要であることから、引き続き推進する。</p> <p>引き続き安心できるIT社会の実現のため、サイバーセキュリティの確保とサイバー犯罪・サイバー攻撃の抑止のため、事業を継続する一方、教養資機材の整備数の見直し等を実施し、一部経費の削減を行った。</p>		
サイバー空間における脅威に対処するための資機材の整備	サイバー犯罪・サイバー攻撃への捜査、国の公安を脅かす事案の防止等サイバー空間の脅威への対処を推進する必要があるため、サイバー空間を巡る情勢や最新の情報通信技術を踏まえ、資機材の確保を推進するもの。	● 1	1,171,384	2,273,706	1,102,322	△ 18,843	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> サイバー犯罪の積極的かつ的確な検挙、各種被害防止対策の実施等により、サイバー犯罪対策を推進する。 関係機関との連携、共同対処訓練等を通じたサイバー攻撃の標的となるおそれのある国内の事業者等のセキュリティレベルの向上の促進等により、サイバー攻撃対策を推進する。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度中、サイバー関連事業者等との連携を強化し、情報提供や注意喚起、被害防止対策等を積極的に推進した。 平成30年度中、サイバー攻撃の標的となるおそれのある国内の事業者等との連携を強化した。 <p>今後も、安心できるIT社会の実現を目指すため、サイバーセキュリティの確保とサイバー犯罪・サイバー攻撃の抑止が必要であることから、引き続き推進する。</p> <p>引き続き安心できるIT社会の実現のため、サイバーセキュリティの確保とサイバー犯罪・サイバー攻撃の抑止のため、事業を継続する一方、整備計画を各県の規模や実情等に応じたものとなるよう見直し、一部経費の削減を行った。</p>		

事務事業名	概要	整理番号	予算額			政策評価結果の反映による見直し額 (削減額)	達成しようとする目標及び実績
			元年度 当初予算額	2年度 概算要求額	増△減額		政策評価結果のポイント
							概算要求への反映状況
合計			1,592,759	3,626,712	2,033,953	△ 710,545	